

直方市住民税課税作業支援業務委託プロポーザル審査基準

I. 審査基準

事前に提出される企画提案書等の書類審査を第1次審査として、別表1に基づいて審査を行う。

第1次審査の選定者については、プレゼンテーションによる審査を第2次審査として、別表2に基づいて行い、その総合点数により業務の委託候補者を決定する。

II. 評価基準・点数

審査のための評価基準及び点数は別表3のとおりとする。

III. 最低基準

各審査基準の配点の合計に選定する委員の人数を乗じた得点を満点とし、満点の6割を最低基準点とする。審査の結果、最低基準に満たない場合は選定しないこととする。

別表1 書類審査（第1次審査）

審査項目	評価視点	点数
会社概要	● 会社の規模等から、契約期間において安定した業務の実施が可能であるか。 ● 従業員数の規模等から、本業務に十分な人材の確保が可能であるか。 ● 営業所の所在地等の状況から、本業務に対して迅速な対応や連絡調整が可能か。	30
提案書	● プロポーザル実施要領の内容に即して、適切に作成されているか。 ● 提案内容が実施要領・仕様書に基づき、本業務の目的や特性を十分に理解し、かつ本市の要望を満たす内容となっているか。	30
業務実績	● 同じ業務の実績・経験があるか。 ● 類似した業務の実績・経験は十分なもののか。	30
合 計		90

別表2 プレゼンテーション審査（第2次審査）

審査項目		評価視点	点数
提案内容	会社概要	● 会社の規模等から、契約期間において安定した業務の実施が可能であるか。 ● 営業所の所在地等の状況から、本業務に対して迅速な対応や連絡調整が可能か。	10
	業務実績	● 同じ業務の実績・経験があるか。 ● 類似した業務の実績・経験は十分なもののか。	10
	基本方針	● 基本方針が、本業務の目的に沿うものであるか。 ● 課税業務に対する理解度があるか。	10
	業務の進行管理	● 仕様書に記載されている内容を正確かつ遅滞なく達成できるように管理する方法が確立されているか。	20
		● 繁忙期の膨大な課税資料処理に対して、効率的かつ正確な対応が期待できるか。	20
	業務履行のスケジュール	● 実施計画（業務開始前の事前準備から、契約終了後の後任への引継ぎも含む）は適正なものか。	10
	組織体制、業務責任者等	● 業務遂行に必要な税務知識及び業務全体を管理できるための経歴・実務経験のある責任者を配置しているか。 ● 管理責任者から事務従事者へ一貫した指揮命令系統が確立されているか。 ● 管理責任者を通じ、市と受託者とが確実に連絡が取れる体制となっているか。	30
	人材育成、人材確保、従事者管理、採用方針、雇用形態等	● 業務に対して適切かつ十分な事務従事者が配置されているか。 ● 業務のための知識や技術、あるいは接遇を身に付けるための教育・研修体制が確立されているか。 ● 従事者の採用にあたっての基準や条件は、本業務遂行のために十分なものであるか。	20
	支援体制	● 業務責任者を含む従事者の人数は、繁忙期で5名程度、閑散期で3名程度が必要と推定しているが、それを満たす人数や役割が想定されているか。 ● 業務従事者の突発的な欠員等による支援体制が整っているか。	20

	個人情報の保護	● 個人情報の重要性を認識し、保護の徹底を図るとともに、漏洩・紛失等を防止するための対策がされているか。	20
	見積金額	● 価格の最も低い事業所を満点とし、他者の点数については次の計算のとおりとする。 計算式：配点（30 点）×最低提案額（※円×税）/提案額（※円×税）※小数点以下切り捨て	30
合 計			200

別表 3 評価基準・点数

評価基準	点数（満点）		
	10	20	30
大変優れている	10	20	30
優れている	8	16	24
普通	6	12	18
やや劣る	4	8	12
劣る	2	4	6